



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和 7 年 6 月 13 日発行 第 15 号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



私の一番の教師

校 長 武井 正明

みなさんは最近、お家の方と手を繋ぐことがありますか？

先月私は、父の手を触りました。

その前はいつ触ったのか、記憶にありません。きっと五十年以上昔かもしれません。

親子の関係とは近いようで遠い、不思議な距離なのだなあと思いました。

親父の手を握りながら思い出すのは、遠い昔のことばかりです。小学校時代、よく空き地でキャッチボールをしてくれました。昔は空き地がいっぱいありました。

中学になると、親父の手は握らなかったし、会話もあまりなかった。たまの休みにするキャッチボールが、私たち父子の、数少ないコミュニケーションのひとつでした。

すっかり細くなってしまったけれど。

親父はこの手で一家を支えてきた。息子ふたりを大学まで出してくれた。若い時は新潟遊園で草花を触ってきた、几帳面で丁寧な仕事をする、器用で優しい、あたたかい手だ。

今でも後悔がある。

父が六十歳で会社を定年退職する際、私は思い切って、初めて親父に手紙を書いた。妻もそれを読んで、これは送るとお義父さん喜ぶよ、と言ってくれた。

なのに…出す直前でやめてしまった。今年の『吉田中学校だより』も、母の号は渡したのに、父についての号は渡せなかった。読めば、どんなに喜んでくれただろう。

だからね。吉中の皆さんに伝えたいことは、親に限らず、身近な人で感謝の気持ちを伝えようと少しでも思う人がいたら、迷わず言葉にして、直接伝えなさい。

あなたのことを、誰よりも愛してくれる人がいたから、ここまで来たのです。

もしも、そういう人が今、思いつかなかったら、あなたがそういう人になりなさい。

いつも感謝する気持ちさえあれば、父の日も母の日も関係ないのです。毎日が感謝の日なのです。思った瞬間があったら、すぐ伝えなさい。いなくなってからでは遅いのです。

先月末、父の葬儀で、私は父から最後の教育を受けました。

感謝の気持ちを忘れず、周りに迷惑を掛けずに、慎ましく、謙虚に生きなさい、と。

会場は父の愛情でいっぱいの、温かい涙であふれる、和やかな空間になりました。

私の一番の教師は、私の父です。これからもずっと変わることはありません。

5/16(金)昼の放送の合間に給食



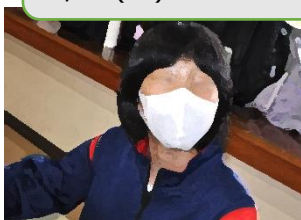
5/23(金)一生懸命作っています!!



5/24(土)全軟県大会準決勝・決勝(エコスタ)宿敵聖籠を 6-5 で下し北信越進出を決める!!



5/26(月)放課後の家庭科室でパチリ



6/1(日)第 46 回県央バドミントン大会 (吉田中)



6/3(火)あいさつ強調週間 なんとメガホンで!!



6/5(木)昼の放送室
放送の合間の給食です!!



令和7年度7月の主な行事

- 1(火) 第1テスト①
- 2(水) 第1テスト② 軍団抽選会
- 4(金) 2年マナー講習会、通信陸上県大会①
- 5(土) 体操・新体操県大会、通信陸上県大会②
- 6(日) 新体操県大会
- 11(金) 体育祭リーダー会議、3年高校説明会
- 12(土) 県大会①
- 13(日) 県大会②

- 14(月) 体育祭リーダー活動開始日
- 19(土) 県大会③
- 20(日) 関東カラーガードコンテスト
- 22(火) 評議会・専門委員会
- 23(水) 夏季保護者会(～25日)
- 28(月) 1学期終業式
- 31(木) 北信越大会(～8/8)

